

# プラムディヤ以後の文学 —『美は傷』を読む—

プラムディヤの世界：  
プラムディヤ・アナンタ・トゥール生誕100年記念セミナー  
太田りべか

1. エカ・クルニアワンについて
2. “Cantik Itu Luka” について
3. 『美は傷』について
4. 『美は傷』を読む
5. インドネシア現代文学作品の中のプラムディヤ
6. インドネシアでのプラムディヤ生誕100年記念企画

# 1. エカ・クルニアワンについて

- ・ 1975年西ジャワ州タシクマラヤ生まれ
- ・ ガジャマダ大学卒業
- ・ 卒業論文は “Pramoedya Ananta Toer dan Sastra Realisme Sosialis” (1999年出版)
- ・ 作家、脚本家、翻訳家、イラストレーター、出版社 Mooo Pustaka主宰
- ・ 2016年インドネシア人作家ではじめてブッカー国際賞 ロングリスト入り



Eka Kurniawan

# 出版作品一覽

- Pramoedya Ananta Toer dan Sastra Realisme Sosialis (評論)  
1999, 2006
- Coret-Coret di Toilet (短編集) 2000
- Cantik Itu Luka (小說) 2002, 2004
- Lelaki Harimau (小說) 2004
- Gelak Sedih (短編集) 2005

- Cinta Tak Ada Mati (短編集) 2005
- Seperti Dendam, Rindu Harus Dibayar Tuntas (小説) 2014
- Perempuan Patah Hati yang Kembali Menemukan Cinta Melalui Mimpi (短編集) 2015
- O (小説) 2016
- Senyap yang Lebih Nyaring (ブログ) 2019
- Usaha Menulis Silsilah Bacaan (ブログ) 2020
- Sumur (短編) 2021

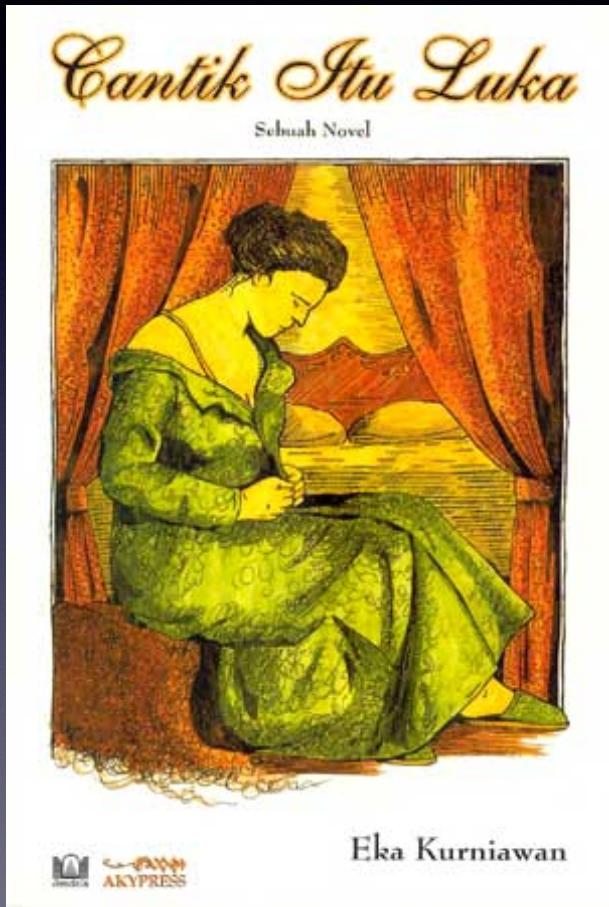
- Tragedimu Komediku (エッセイ集) 2023
- Anjing Mengeong, Kucing Menggonggong (小説) 2024
- Mat Pisau (短編) 2024



# 受賞歴

- ・ プリンス・クラウス賞（オランダ） 1999, 2006
- ・ エマージング・ヴォイス賞（アメリカ） 2016
- ・ ワールド・リーダーズ・アワード（中国、オーストラリア） 2016
- ・ SEAライト・アワード（東南アジア） 2020年
- ・ ピアラ・マヤ特別原作賞（インドネシア） 2016
- ・ インドネシア映画祭最優秀脚本脚色賞（インドネシア） 2022
- ・ Anugerah Kebudayaan dan Maestro Seni Tradisi 2019（インドネシア教育文化省）の受賞を辞退

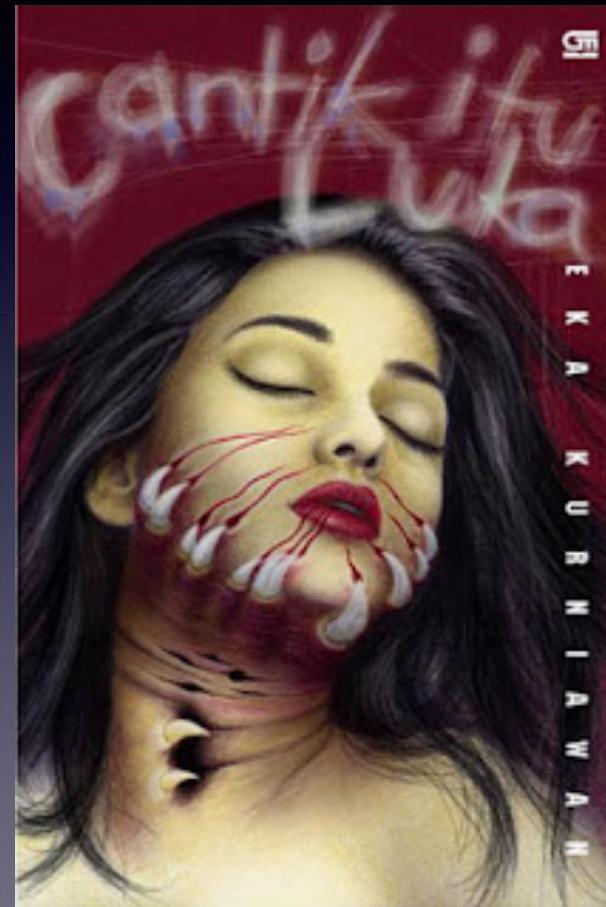
## 2. “Cantik Itu Luka”について



初版 2002年

AKY Press

Penerbit  
Jendela



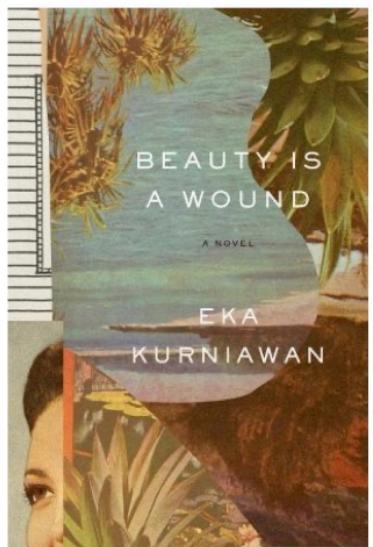
2004年

Gramedia  
Pustaia  
Utama

# 出版20周年記念特装版 2020年



G



英語版



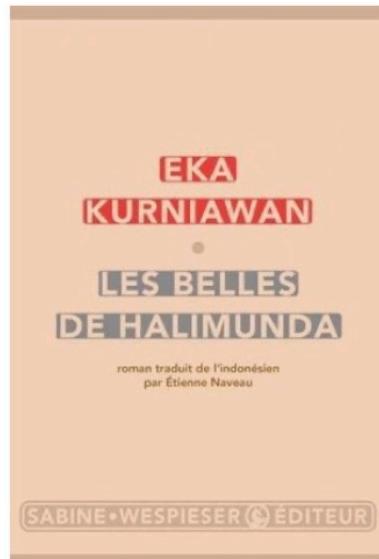
イタリア語版



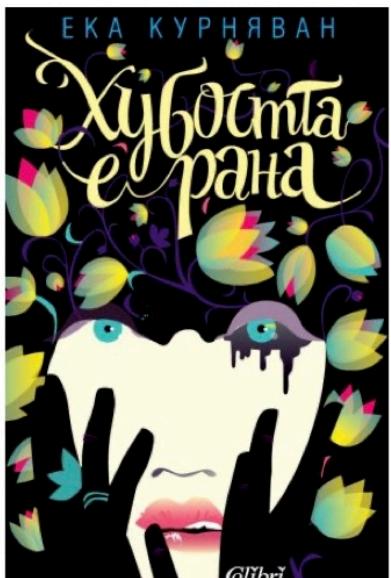
スペイン語版



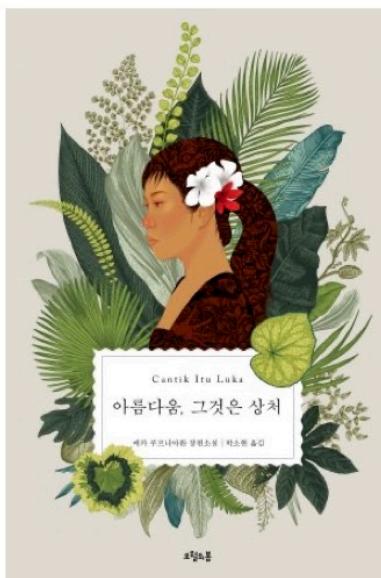
ギリシャ語版



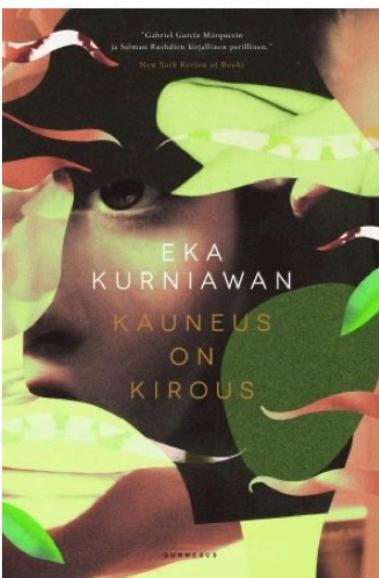
フランス語版



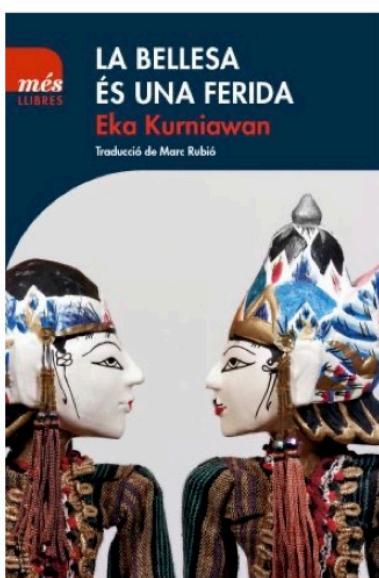
ブルガリア語版



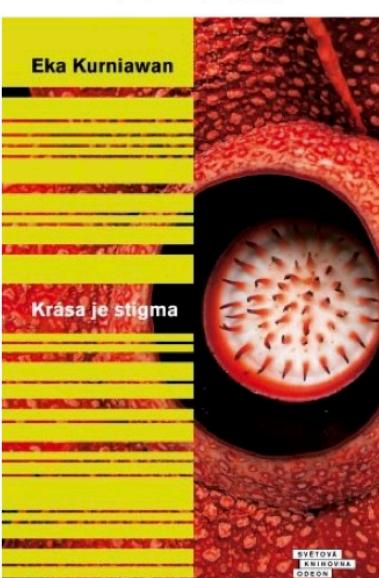
韓国語版



フィンランド語版



カタロニア語版



チェコ語版



### 3. 『美は傷』について

- 2006年 新風舎版（共同出版）
- 2024年 春秋社  
アジア文芸ライブラリー

装幀：佐野裕哉

装画：菅野まり子

## 4. 『美は傷』を読む

“プラムディヤ・アンタ・トゥールが「ブル島四部作」で  
インドネシアが国家として独立を果たす直前で筆を置いた  
のなら、その後、インドネシアがどうやって子宮に宿り、  
生まれ、育っていったかを書こうと思った。”

-エカ・クルニアワン談

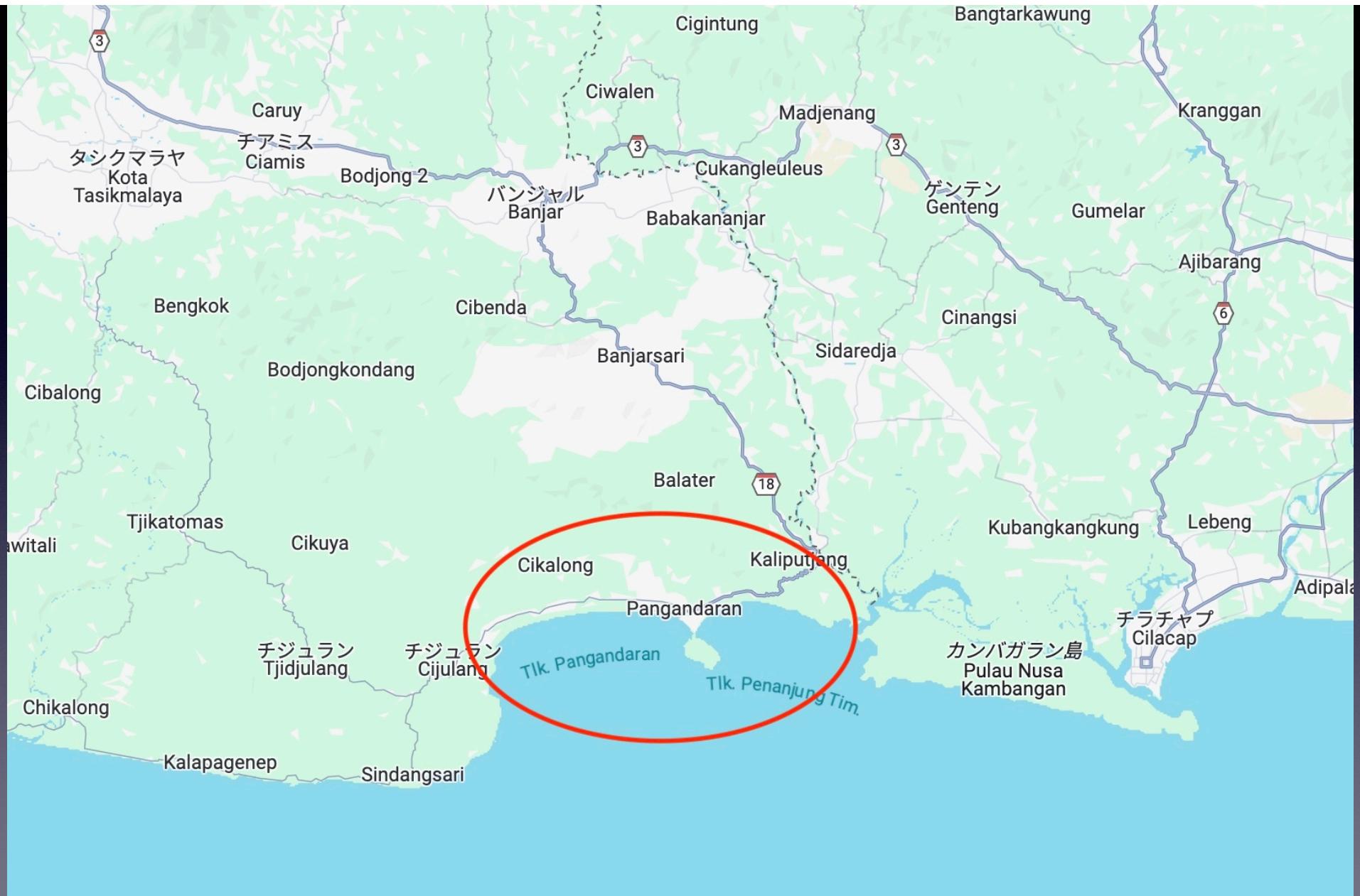
“サルマン・ラシュディが『真夜中の子供たち』でインドを語り、ギュンター・グラスが『ブリキの太鼓』でドイツを語つたように、インドネシアについて広く語りたいと思った。”

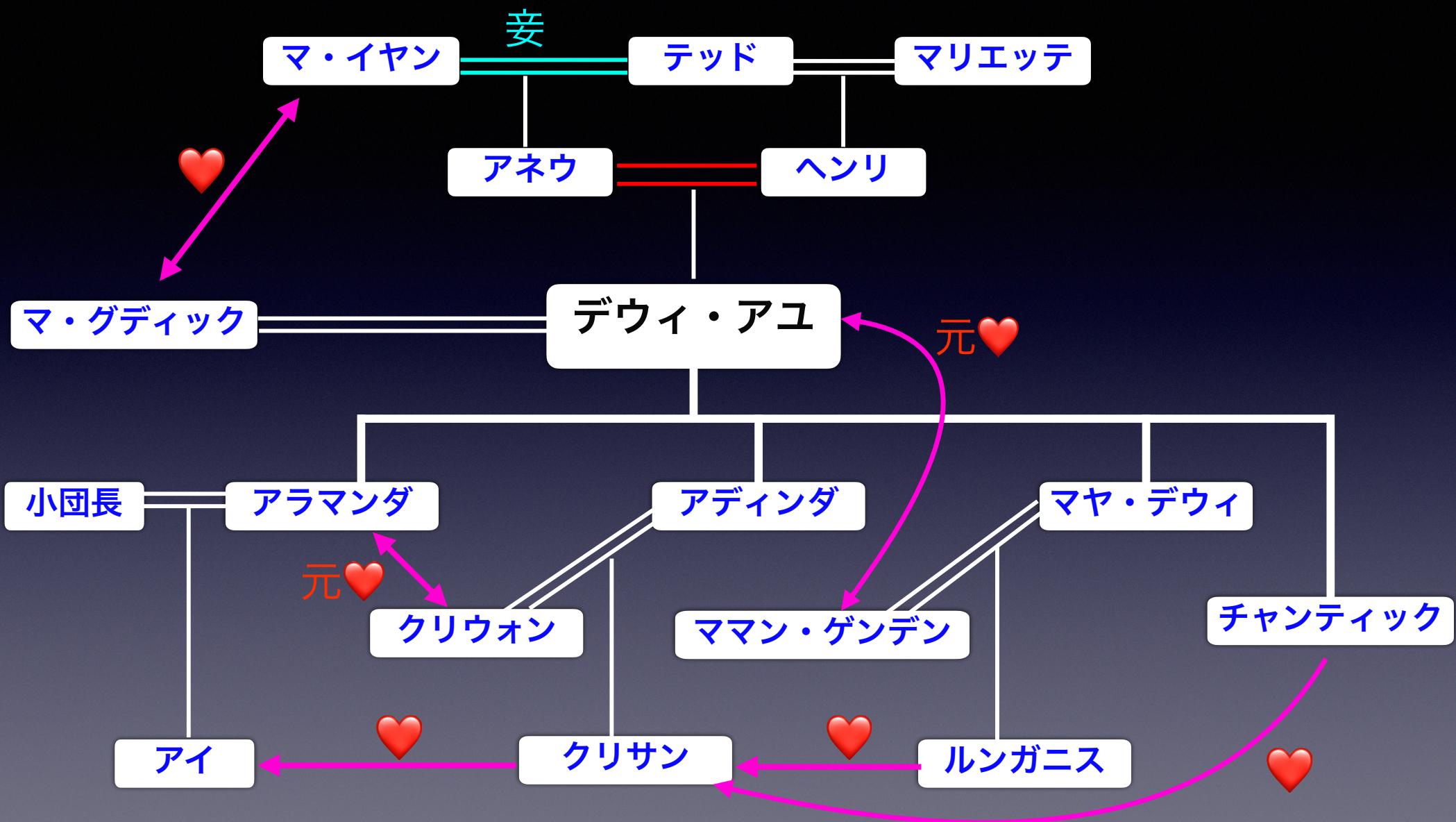
-エカ・クルニアワン談

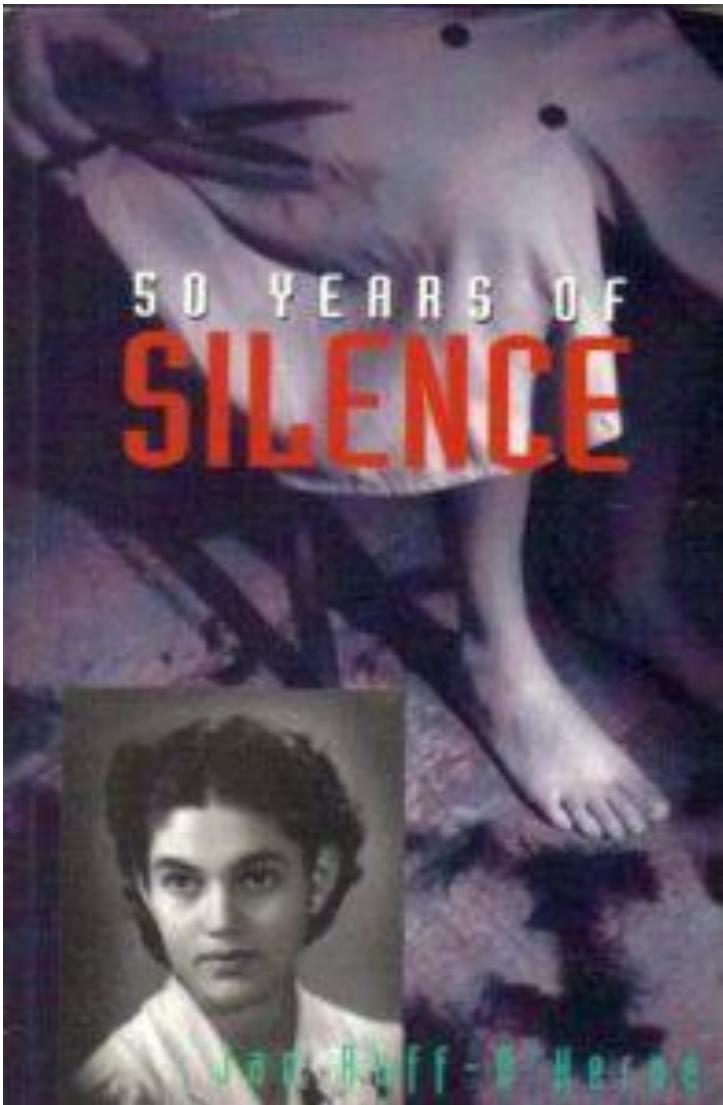
物語の舞台：  
ハリムンダ

Pangandaran







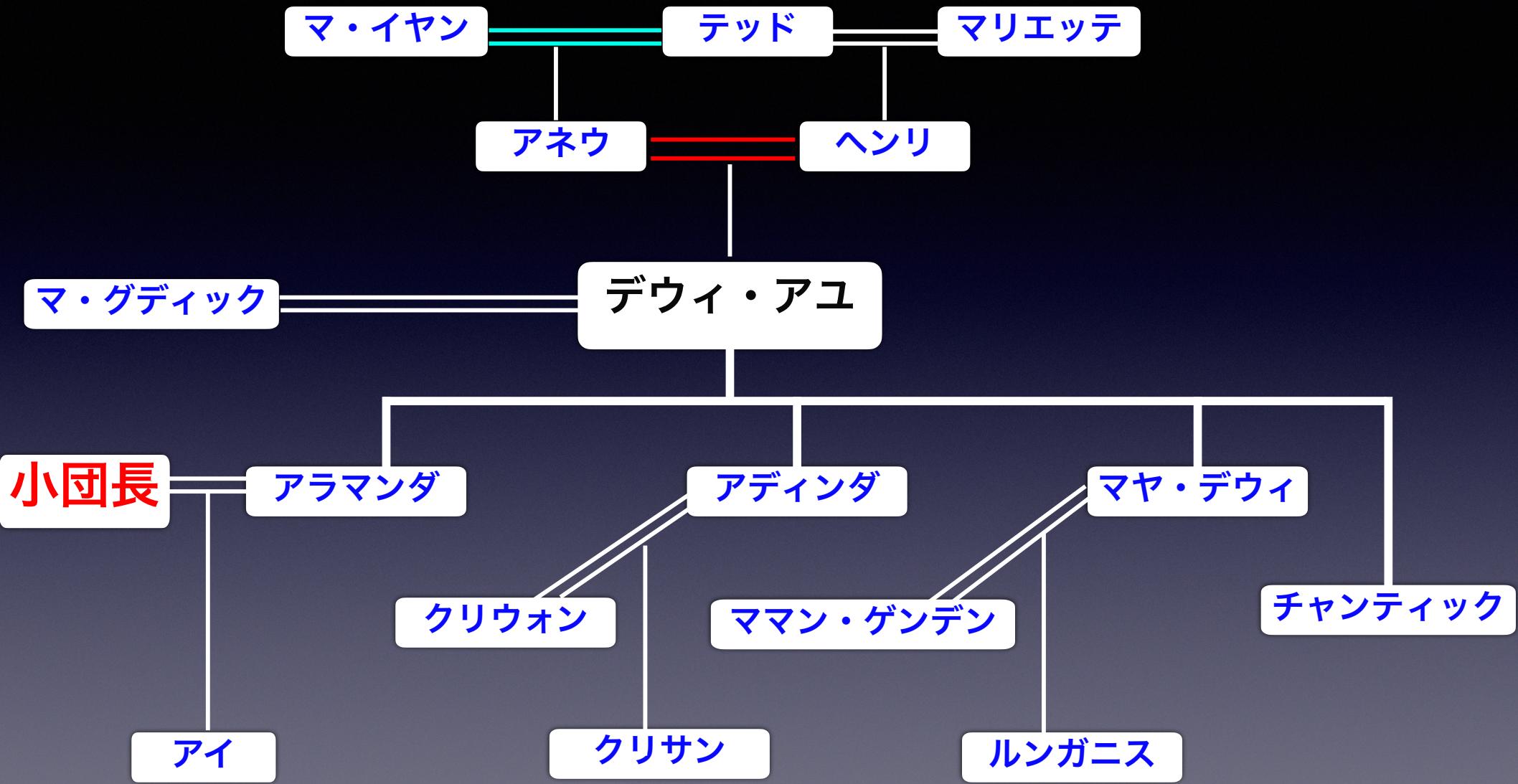


スマラン慰安所事件（1944）

Jan Ruff-O'Herne

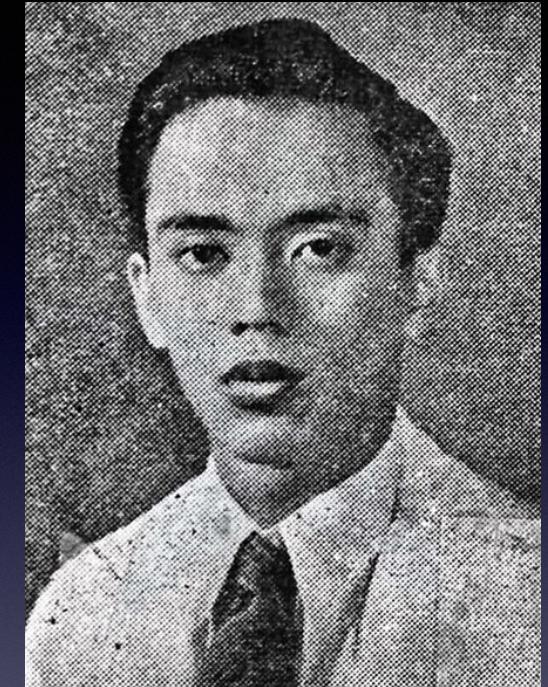
“Fifty Years of Silence”  
(1994)

『オランダ人「慰安婦」  
ジャンの物語』



# スプリヤディ (Soeprijadi)

- ・ PETA (郷土防衛義勇軍) の小団長
- ・ 1945年2月にブリタルで日本軍に対する反乱蜂起を主導
- ・ その後行方不明に
- ・ インドネシア独立後、人民治安大臣および国軍最高司令官に任命されるも着任せす
- ・ 1975年インドネシア国家英雄に
- ・ さまざまな生存説

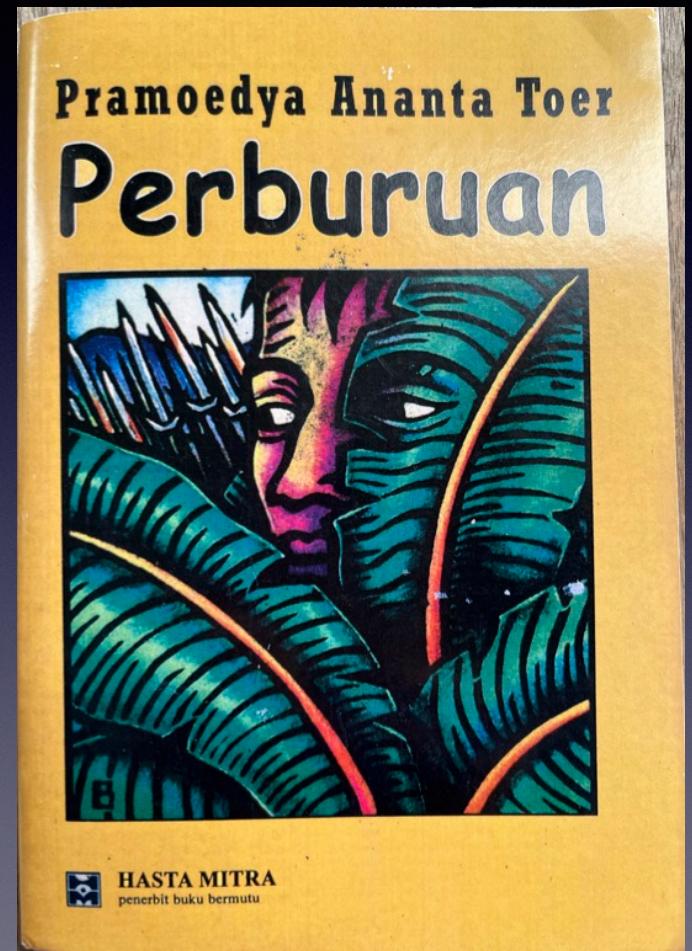


Soeprijadi  
1923 ~ ?

# プラムディヤ作 “Perburuan”

- ・1950年 Balai Pustakaより発行
- ・反乱蜂起失敗後、逃走中のハルド小団長
- ・懊惱するハルド小団長

決してハッピーエンド  
にはさせない



# “Perburuan”

日本敗戦・インドネシア独立の知らせ



子どもたちが通りで踊り出す



日の丸を引き下ろす



インドネシア国旗掲揚



日本軍指導官が銃を乱射



指導官処刑

# 『美は傷』

「8月17日、インドネシア独立。

9月23日、ハリムンダ、それに続く」



子どもたちが通りで踊り出す



日の丸を引き下ろす



「このろくでなしの旗でも喰らえ！」

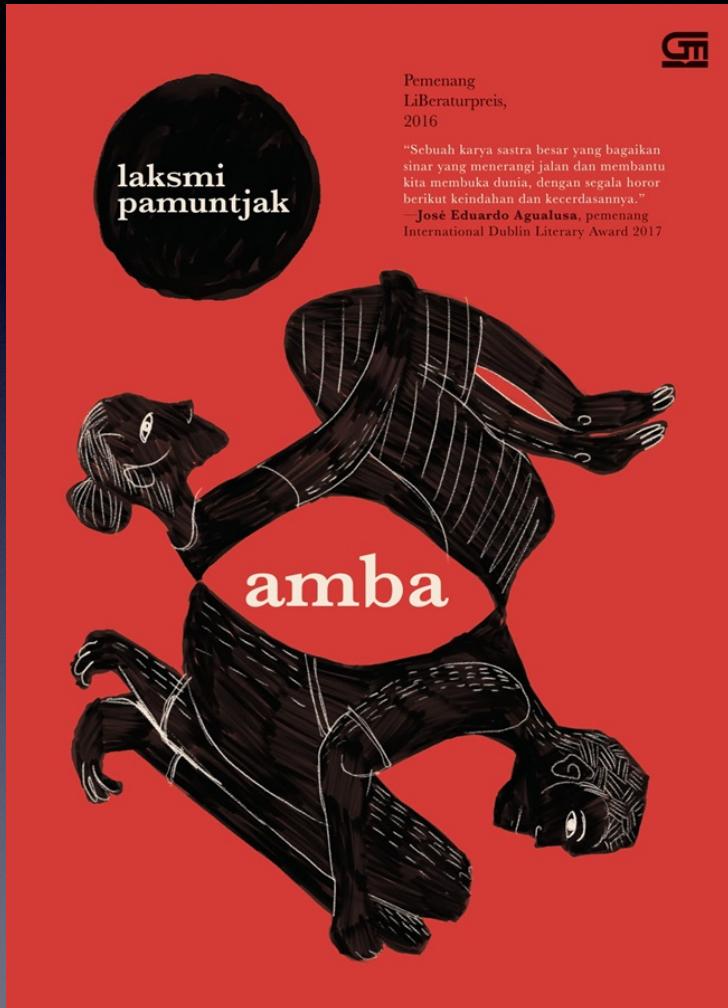
インドネシア国旗掲揚

決してシリアルス一辺倒にしない

“この国の国民は傷だらけです。僕もその傷ついた国民の一部です。そしてその傷をガリガリ引っ搔いて、むしろあの時代の自分たちの愚かさを笑い飛ばしてみたいと思っている。”

-エカ・クルニアワン談

## 5. インドネシア現代文学作品の中のプラムディヤ



### “Amber”

### Laksmi Pamuntjak

初版 2012年



「だれあろう、プラムディヤ・アナ  
ンタ・トゥールその人、われわれの  
集合的記憶を初老のその肩に担う  
覚悟の偉大なる人物」



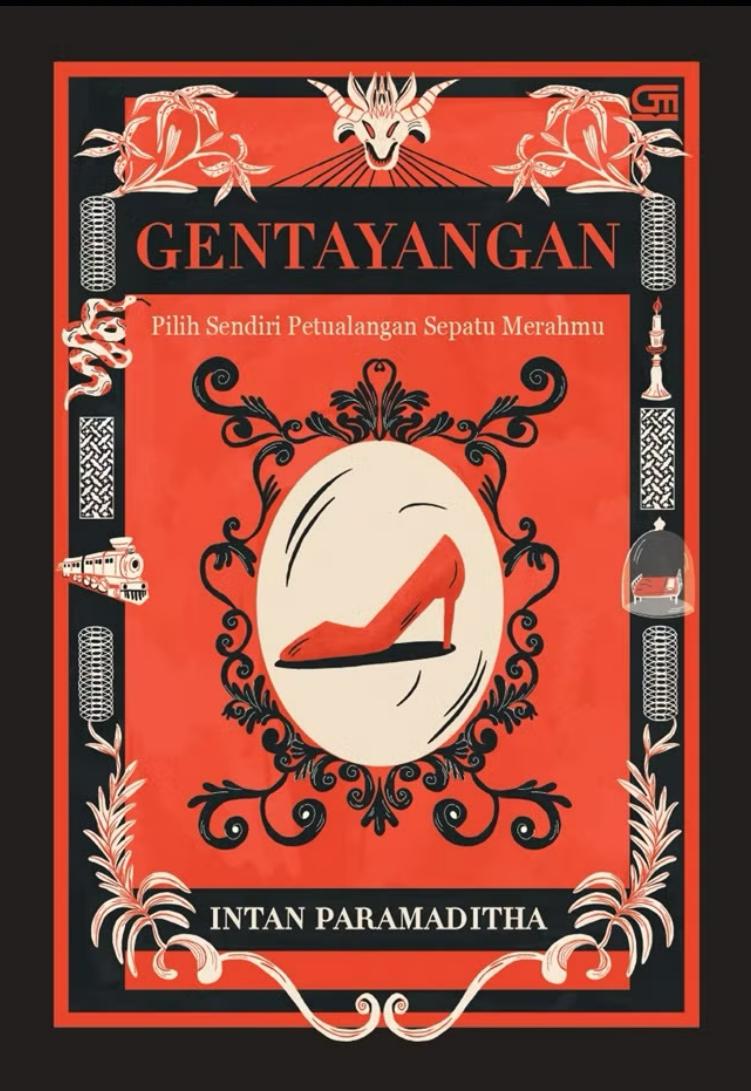
# “Laut Bercerita”

Leila S. Chudori

初版 2017年



「プラムディヤ・アンタ・トウルの本のコピーを持ち歩くのは爆弾を抱えているも同然で、危険人物、非国民とみなされるはずだ」



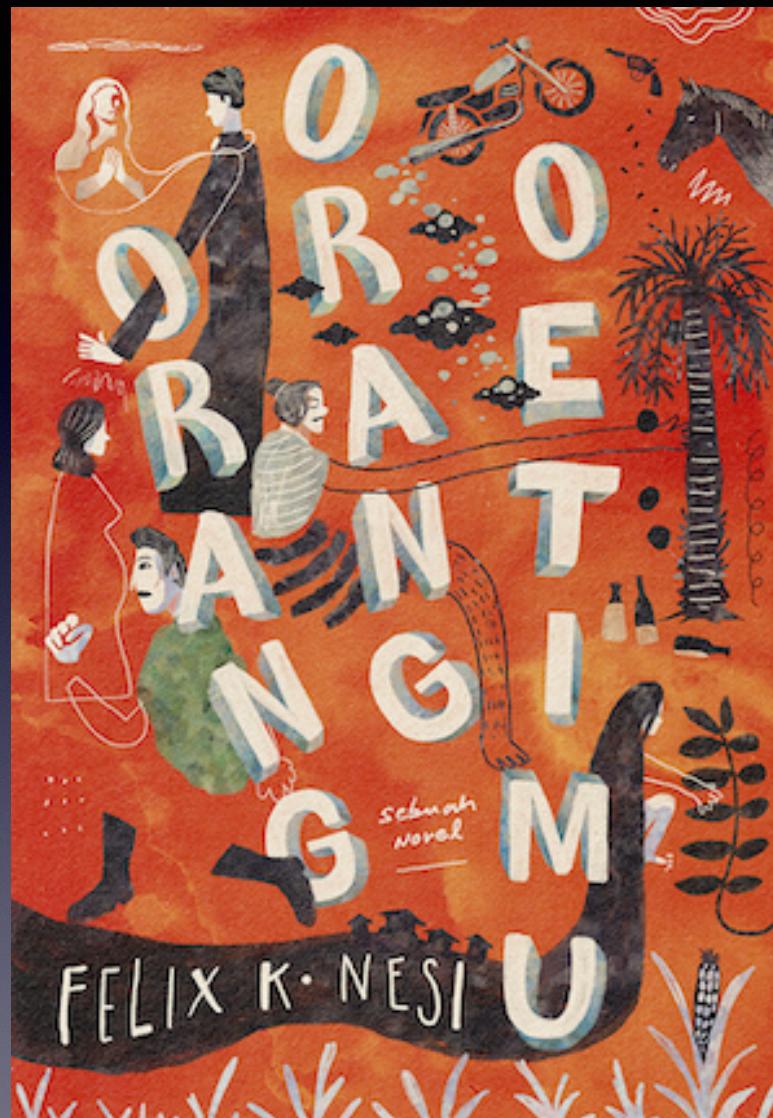
# “Gentayangan”

Intan Paramaditha

初版 2017年



「その女のことが嫌いなら、なんでニヤイなんて呼んでわざわざ持ち上げるんだ？ そして彼は、プラムディヤ・アナンタ・トゥールの小説に出てくるニヤイ・オントソロの話をした。植民地主義に対する抵抗のシンボルとなった聰明な女性だ」



# “Orang-Orang Oetimu”

Felix K. Nesi

初版 2019年



**PRE ORDER**

# **TETRALOGI BURU**

PRAMOEDYA  
ANANTA  
TOER

3 - 9 FEBRUARI 2025

Pramoedya  
Ananta Toer  
Bumi  
Manusia

Pramoedya  
Ananta Toer  
Anak  
Semua  
Bangsa

Pramoedya  
Ananta Toer  
Jejak  
Langkah

Pramoedya  
Ananta Toer  
Rumah  
Kaca

Seabad  
Pramoedya  
Ananta  
Toer  
1925-2025

BONUS POSTCARD PRAM

**RP 190.000**  
PER BUKU

VIA DM

**RP 180.000**



# 6. インドネシアでの プラムディヤ生誕100 年記念企画

Lentera Dipantara

